



■ 名 前 (ふりがな)	柴垣 直希
■ 学校名	山東町立 大原小学校
■ 学 年	6 年
■ 年 齢	1 2 歳
■ お手伝いしていただいた方の名前	柴垣 富士夫 (父) 柴垣 キミエ (祖母)

■ レポートした場所	滋賀県 東浅井郡 湖北町 伊部
■ レポートの題名	田川の今と昔
■ 内 容	<p>僕のばあちゃんは、滋賀県の湖北町に住んでいます。家のすぐ前を田川という川が流れていてダムもあります。</p> <p>昔は、川幅も今の半分くらいで、低い石垣の土手があって、川の水も今より浅かったそうです。お父さんが子供の頃は、この川でよく泳いだそうです。水は透き通っていて、川底が見え、魚もいっぱいいて魚とりもしたそうです。そして、源氏蛭がいっぱいいたと聞きました。ばあちゃんは、川で茶碗を洗ったり、洗濯をしたりしたそうです。今では考えられない事だと思いました。でも、大雨が降ると川の水があふれて、川下の町は水びたしになって被害が出たそうです。</p> <p>お父さんが僕くらいの頃、川の改修工事があり川幅が広げられて、土手はコンクリートで固められました。そしてダムもでき、水を貯めるようになりました。それからは、洪水の被害はなくなりました。そして貯めてあるダムの水には他の役割もあるそうです。それは、50年くらい前、大火事があって、一週間ほど燃え続け、村が半分くらい焼けてしまった事があるそうです。今もし、そういうことが起きた時には、消化水として使われる役目もあるそうです。他にもダムの水を調整して田んぼの用水にも使われています。</p> <p>今は、被害もなくなって生活も便利になったようだけど、お父さんが子供の頃に川で泳いだりした話を聞くと、「うらやましいな。」とも思います。今は、川の水がにごっていて、とても泳げそうにはないけれど、魚は少し泳いでいます。蛭は、ずい分少なくなったようです。</p> <p>これから僕達は、これ以上水が汚れないようにして、魚や蛭も住めるきれいな川を守っていきたいです。</p>

<昔の写真>

1. (今の3の写真と同じ)



↑お父さん

2.



3.



4. (今の5の写真が同じ場所)



<今の写真>

1. 今の家



2. 今の川の中 魚



3. 昔の1の写真と同じ場所



4. 昔の2



5. 昔の4の写真と同じ場所

